

弘前大学学報



在札幌総領事館首席領事が来学

第 128 号
平成26年11月号

学内ニュース

○在札幌米国総領事館 首席領事 本学を訪問	-----	1
○ボランティアセンター		
「第2回市民ボランティア講座」を開催	-----	2
○「知財塾」を開催	-----	3
○第6回弘前大学COI特別講演会を開催	-----	4
○COI研究推進機構 工藤重光URA		
「イノベーションコーディネータ大賞 文部科学大臣賞」を受賞	-----	5
○平成26年度東北地区国立大学法人等		
研究協力担当事務職員研修を開催	-----	6
○農場祭を開催	-----	7
○ボランティアセンター		
「弘前市直営除雪隊結団式」に参加	-----	8
○「第9回弘前大学鷹揚さくら会」を開催	-----	9
○平成26年度弘前大学と弘前市の		
連携推進会議開催	-----	10
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム		
6大学合同シンポジウム開催	-----	11

諸 会 議	-----	12
--------------	-------	----

人 事

○新任教授紹介	-----	14
○人事異動	-----	14

主要日誌	-----	16
-------------	-------	----

学内規則	-----	17
-------------	-------	----

在札幌米国総領事館 首席領事 本学を訪問

在札幌米国総領事館のジョエレン・ゴーク首席領事が、11月6日（木）、本学を訪問しました。ジョエレン・ゴーク氏は、高校時代に国際ロータリーの交換留学生として青森県に滞在しており、JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Program: 語学指導等を行う外国青年招致事業）にて再び来日した際も本県で数年間を過ごすなど、青森県との深い親交があります。

和氣副学長を表敬訪問した後、イングリッシュ・ラウンジを訪れたゴーク氏は、英語学習のために集まっていた学生達と懇談し、大学生活の様子や今後の夢を質問するなど、これからもグローバルに活躍してほしいと学生達を激励しました。

資料館を見学した後、農学生命科学部附属生物共生教育研究センター（藤崎農場）を訪れ、収穫の時期を迎えたりんごの収穫体験をしました。本学で開発された品種「こうこう」は、果皮が黄色で果肉が白い晩生品種で、たっぷり蜜の入った果実を収穫するというめったに出来ない貴重な体験を楽しみ今後もアメリカとの友好関係が継続・発展することを期待して大学を後にしました。



和氣副学長を表敬訪問



イングリッシュ・ラウンジで学生と懇談

ボランティアセンター 「第2回市民ボランティア講座」を開催

11月7日（金）、ボランティアセンターは、弘前市の後援を得て、第2回市民ボランティア講座ボランティアワークショップ『「チーム・オール弘前」 どうする？ これからの支援・交流活動について』を開催しました。

当センターでは、東日本大震災発生後の平成23年4月11日より、「チーム・オール弘前」として毎月、岩手県野田村でボランティア活動を行っています。それに加えて、市民ボランティア講座を開催することで、より多くの弘前市民や学生がボランティア活動の実状やその重要性を幅広く理解することで、ボランティア活動へ積極的に参加してもらうことを目指しています。

同講座には、市民・学生・スタッフを合わせて約70名が参加し、大河原隆センター長による開催挨拶の後、日比野愛子氏（人文学部講師）の進行により『「チーム・オール弘前」 どうする？ これからの支援・交流活動について』をテーマとしたボランティアワークショップが行われました。

グループごとに分かれた参加者らは、ボランティア活動についての夢を実現可能なビジョンとしてまとめるために、日比野氏や李永俊副センター長らのアドバイスを受けながら討議を行いました。最初は戸惑い気味であった参加者らは徐々に打ち解け、議論や会話を重ねてそれぞれのグループでの「夢」を作り上げました。「夢」の発表会では、それぞれのグループから、野田村とスポーツを通じた交流をしたらどうか、プリントを作って子どもたちの学習支援を行ってはどうかなど、自分たちを主体とした積極的な意見が出されました。

李副センター長は最後に講評として「みなさんからたくさんの「夢」を預かった。しかし、これらの「夢」を実現するのは、みなさん自身です。」と今後の「チーム・オール弘前」の活動への期待を述べ、ワークショップは大いに盛り上がりを見せました。



大河原センター長による開催挨拶



進行をつとめた日比野氏



ワークショップで討議をする参加者



講評を述べる李副センター長

「知財塾」を開催

知的財産本部は、11月10日（月）に弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大2階セミナー室において、活用から創出までを見通した知的財産戦略の重要性等について理解を深めていただくことを目的とし、「知財塾」を開催しました。

当日は山口大学大学研究推進機構知的財産センター副センター長の木村友久氏を講師に迎え「創出から活用までを見通した知的財産戦略運用に向けた取組」と題し、ご講演いただきました。木村氏からは、海外大手メーカーの羽無し送風機を題材とした技術開発戦略を支える特許情報の分析や、国内で実際にあった訴訟の実例を題材に訴訟戦略について解説いただき、また、著作権にも焦点を当て、大学の立場から見た大学出版や公開講座、学生が予習・復習のために視聴する授業映像の権利関係等について、山口大学の事例を踏まえながら解説いただきました。併せて、組織・社会における知的財産戦略を担う人材育成について、山口大学では学部1年生から必修の授業として知財教育を実施していることや、知財人材は事業分野を問わず多様なレベル・局面で必要となるため、結果として普遍的な知財教育の波及効果が見込まれることなどが説明されました。

37名の参加者は、実例を踏まえた特許情報分析や訴訟戦略、大学出版における出版契約、知的財産戦略に携わる人材育成等について熱心に聞き入っており、理解を深める有意義な場となりました。



木村友久氏による講演



知財塾の様子

第6回弘前大学COI特別講演会を開催

11月11日（火）、大学院医学研究科基礎大講堂において、公益財団法人川崎市産業振興財団 Center of Open Innovation Network for Smart Health（COINS）プロジェクト統括の木村廣道氏を講師にお招きし、「地域発オープンイノベーションの基盤作りに向けて」と題した特別講演会を開催しました。

本講演会は、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択された本学と企業及び自治体等で組織する「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発（略称：革新的「健やか力」創造拠点）」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、更なる知見を深めることを目的に実施し、今回が6回目の開催となります。

講演会では、全ての医療機能が人体内に集約化される「体内病院」実現の取り組み、産学官が連携する革新的オープンイノベーション体制や研究拠点となる「ものづくりナノ医療イノベーションセンター」などスマートライフケア社会を実現する様々な取り組みについて、御講演いただきました。

当日は約70名の一般の方、学生や教職員、企業等関係者が聴講し、講演後にも木村氏に個別に質問を行い、熱心に意見交換がされていました。

今後、本拠点では川崎市産業振興財団COI拠点と拠点間の繋がりを一層強化し、COI事業を展開する予定です。



中路研究リーダーによる挨拶



COINS木村プロジェクト統括による講演



熱心に聞き入る聴講者



聴講者による質問の様子

COI 研究推進機構 工藤重光 U R A 「イノベーションコーディネータ大賞 文部科学大臣賞」を受賞

COI 研究推進機構の工藤重光 U R A（産学連携担当）が、大学等が保有するサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンの産業化に資する技術シーズを活用し、プロジェクト初期から商品化まで積極的に行ったコーディネート活動及び、青森県の地域特性を生かした多様な特筆すべき産業集積を実現した実績について高く評価され、平成26年度イノベーションコーディネータ表彰「イノベーションコーディネータ大賞 文部科学大臣賞」を受賞することとなり、11月11日（火）につくば国際会議場（茨城県つくば市）で行われた表彰式において、同賞が授与されました。

「イノベーションコーディネータ表彰」は、独立行政法人科学技術振興機構(JST)により、産学官連携による研究開発及び企業化をコーディネートした人材を表彰することを目的として、平成21年度に創設されました。

工藤氏は、平成18年1月に本学に採用されてから今年の4月末まで地域共同研究センター産学官連携コーディネータとして活動し、数多くのプロジェクト体制の構築に携わり、外部資金を獲得しながら研究推進を図ったことに加えて、多くの商品を市場に出すことに成功し、地域産業の活性化にも貢献してきました。

特に本学の技術シーズであるサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンの事業化に向けた「文部科学省都市エリア産学官連携促進事業」では、研究の推進、企業や関係機関との体制構築に活躍し、後継事業である「文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム（都市エリア型）」の採択に繋がった業績は大きく、この度の受賞に至った大きな要因と言えます。

表彰式当日は、文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課長の坂本 修一 氏、独立行政法人科学技術振興機構 理事長 中村 道治 氏より表彰状と記念品のトロフィーが授与されました。

表彰式に続いて工藤氏から受賞講演があり、今まで関与してきたプロジェクトが紹介され、現在に至るまでコーディネータ活動を支援して下さった全ての方々に対し、感謝の言葉を述べられました。



表彰式の様子

平成26年度東北地区国立大学法人等 研究協力担当事務職員研修を開催

本学が当番校として、11月13日・14日の2日間にわたり、平成26年度東北地区国立大学法人等研究協力担当事務職員研修を弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」八甲田ホールで開催しました。本研修は、国立大学協会東北地区支部を主催とし、研究協力担当職員としての知識とスキルの向上を目指すことを目的に毎年行っており、東北地区の大学、高等専門学校から35名が参加しました。

初日は、開催にあたり柏倉研究担当理事から挨拶があり、続いて、文部科学省研究振興局学術研究助成課課長補佐の小野耕志氏から「研究力強化戦略について」と題し、国立大学改革プランに基づく国立大学改革に関する取組状況や、間接経費や科研費の配分結果から強み・特色の分析に関して講演いただきました。その後、信州大学産学官・社会連携推進機構リサーチ・アドミニストレーションセンターURAの鳥山香織氏、土井達也氏から「URAと研究支援業務について」と題して、URAの業務や人材育成・定着に向けた取組の紹介、産学官連携の成果や今後の課題・期待等について、山口大学学長特命補佐 知的財産センター長の佐田洋一郎氏からは、「ゼロから学べる知的財産～大学の知財管理について～」と題して、知的財産の基本的な知識・性質に関する説明、大学における研究成果を守る知財管理、研究ノートの活用について講演いただきました。

2日目は、班別討議として「対話型ワークショップ」を行い、「オープン・リサーチ・キャンパスに向けてポスターをつくってみよう！」というテーマで、グループディスカッション及び発表を行いました。発表はスキット（寸劇）形式で、どのグループも研究成果や立地条件を活かした大学の魅力を十分にアピールするなど、今後の業務に活かすことのできる実践的な取組みを通して理解を深めました。

受講生は、2日間の研修と情報交換会を通じて他大学等の職員との交流を深めるとともに、所期の目的を十分達成し、有意義な研修となりました。



文部科学省研究振興局学術研究助成課小野補佐による講演



信州大学 鳥山URA、土井URAによる講演



山口大学知的財産センター佐田センター長による講演



班別討議の様子

農場祭を開催

本学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターの金木農場と藤崎農場では毎年11月に地域の方々との結びつきを深めるため、合同で「農場祭」を行っており、今年も11月15日（土）に金木農場において行いました。

農場祭の当日は雪が舞い、寒さの厳しい天候でしたが、昨年度を上回る来場者（約480名）が金木農場を訪れました。

会場では、生物共生教育研究センターの両農場で生産したコメ、アップルビーフ、リンゴ、野菜の販売の他に、両農場教職員が日頃から取り組んでいる研究成果を紹介するポスター展示、藤崎農場の育成品種である「紅の夢」「こうこう」の展示・試食、金木農場で栽培した全国各地の銘柄米を味わう「米5品種の味くらべ」のイベントも行われました。

農場生産物販売コーナーには開始前から長い行列ができるほど、好評でした。

この「農場祭」は来場者の皆様から直接意見・感想をいただく貴重な機会であり、それをもとに今後とも地域に根ざした活動を続けていきたいと思っております。



会場の様子

ボランティアセンター 「弘前市直営除雪隊結団式」に参加

ボランティアセンターは、11月18日（火）、「平成26年度弘前市直営除雪隊結団式」に参加しました。

当センターでは、平成24年度から継続して「チーム・オール弘前」で「雪かたづけ隊」を結成し、弘前市の住民が冬期間安全で快適な生活を送る一助として除雪の活動を行っており、本年度の活動は3年目となります。

弘前市茜町にある弘前市建設部道路維持課内で開催された除雪隊結団式では、葛西憲之市長から「市民の期待に応じてほしい」と激励の言葉が伝えられ、続いて直営隊代表および当センター学生事務局代表の小林弘樹さんが「今年度も、事故のないよう精一杯ボランティア活動を行いたいと思います」と誓いの言葉を述べました。葛西市長からは、直営隊代表に除雪車両のキーレプリカが、小林さんに携帯用カイロが手渡され、当センター学生事務局の長尾晃汰さんは弘前西小学校の児童から花束の贈呈を受けました。

安全祈願に続き、直営隊隊員や当センターの学生、小学校児童らの参加者はりんごジュースで乾杯しました。その後、除雪車の観覧が行われ、大型の除雪車が列をなして動く様子に参加者からは歓声が上がりました。



誓いの言葉を述べる学生事務局代表 小林さん



葛西弘前市長による携帯用カイロの贈呈



花束を受け取った学生事務局長尾さん



葛西市長及び子どもたちによる記念写真

「第9回弘前大学鷹揚さくら会」を開催

11月21日（金）、本学に勤務した事務系・技術系職員と現職員の交流を目的として「第9回弘前大学鷹揚さくら会」を、本学創立50周年記念会館「みちのくホール」で開催しました。

総会では、名誉会長の佐藤学長の挨拶に続いて、会長の加藤総務担当理事・副学長・事務局長から「弘前大学この一年のあゆみ」と題して講演が行われました。

引き続き、2階「岩木ホール」に場所を移して行われた懇親会では、佐藤学長、OBを代表して遠藤前学長が挨拶し、大河原社会連携担当理事の発声で乾杯した後、集まった約80名の参加者は本学での思い出などで和やかに懇談し旧交を温めました。

会には、遠藤前学長、菅原正弘氏（在職当時事務局長）、工藤敏夫氏（在職当時事務局長）のほか、大学側から、佐藤学長、加藤理事を含む理事、部課長、その他在職者が参加し、大学の現状等についても意見交換を行いました。



記念撮影の様子

平成26年度弘前大学と弘前市の 連携推進会議開催

本学と弘前市は、11月26日（水）に「平成26年度弘前大学と弘前市の連携推進会議」を、弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 八甲田ホールで開催しました。

この会議は、包括連携協定を締結している相互の連携・協力をより円滑に実施するため、それぞれにおける取り組みについて情報提供し、連携事業の方向性などを協議する場として毎年開催されているものです。

会議の冒頭、佐藤学長から、弘前市の大学支援策についての謝辞と、お互いの連携事業を今後より一層拡大していきたい旨の抱負が述べられました。

会議では、大学側から大学改革の進捗状況や「地（知）の拠点整備事業」の概要などについて、市側から自治体内シンクタンクの設置構想案などについて説明があり、特に教育面への人的支援や大学生の定住促進等に関して、活発な意見交換が行われました。

会議の最後には、議長の蛭名正樹弘前市副市長から、お互いの要望や情報を交換できる機会を増やし、より実効性のある連携事業に繋げていきたい、との方針がとりまとめられました。



挨拶を述べる佐藤学長



会議の様子

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 6大学合同シンポジウム開催

本学を含む弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムでは、去る11月29日（土）に、「6大学合同シンポジウム」を複合施設ヒロロ3階健康ホールで開催しました。

このシンポジウムは、今年で3回目の開催で「大学から地域への情報発信のあり方」をテーマに、これからの魅力あふれる地方の創生に向けて、市民の生きがい創造や市街地の活性化を推進するために、大学コンソーシアムが地域に対して何ができるのか、どのような情報をどのように発信すれば地域住民に伝わっていくのか、大学コンソーシアムの情報発信のあり方について先行事例の紹介とともに地域の皆さんと考えることを目的としており、市民、学生、行政関係者、大学関係者合わせて38名が参加しました。

シンポジウムでは、高等教育コンソーシアム信州教育部会長・信州大学高等教育研究センター教授の加藤鉦三氏と高等教育コンソーシアム信州事務局・信州大学学務部学務課専門職員の中山茂之氏を講師にお招きし、高等教育コンソーシアム信州の事例紹介と今後の大学コンソーシアムの情報発信のあり方についての基調講演が行われました。また、パネルディスカッションでは、市民、学生、行政、コンソーシアムそれぞれの立場から出された要望や意見について、活発な討論が行われました。特に、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム学生委員会「いしてまい」の丸岡桃子さんから「学生がコンソーシアムの活動に参加し市民や行政と関わることで、学生自身の成長に繋がるとともに、まちの活性化にも繋がる」という意見や、弘前市経営戦略部理事の櫻田宏氏からは「市民と学生、弘前市、大学コンソーシアムが共同してさらに弘前市を盛り上げていただきたい」といった要望には、参加者一同がうなずいていました。

また、会場後方では、パネル展示による本コンソーシアムの活動紹介が行われ、参加者の興味を引いていました。



加藤教授による基調講演



意見を述べる「いしてまい」丸岡さんの様子

■ 諸 会 議

▼役員会

11月5日（月）

審議事項

- 1 職員の懲戒等について
- 2 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
- 3 弘前大学教員組織規定の一部改正について
- 4 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
- 5 学校教育法等の一部改正への対応について
- 6 弘前大学社会連携推進機構の設置について
- 7 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について

報告事項

- 1 平成26年秋の生存者叙勲受章について
- 2 教育研究組織の再編について
- 3 弘前大学学生企画コンテスト募集について
- 4 留学生危機管理サービス（OSSMA）への加入について
- 5 女性教員比率に関する現状について
- 6 八戸サテライト主催「平成26年度八戸地域学講座」の開講について
（平成26年12月3日～平成27年2月25日）
- 7 弘前大学次世代育成支援対策推進行動計画の目標達成状況について
- 8 その他
（1）国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

11月17日（月）

審議事項

- 1 教員組織の再編について
- 2 第3期中期目標・中期計画（1次案）について
- 3 教授会の役割等について
- 4 平成26年度 予算実施計画の変更について

報告事項

- 1 弘前大学の改革プランについて
- 2 国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について
- 3 地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）について
- 4 平成27年度科学研究費助成事業の申請状況について
- 5 「青森県経済の現状と今後の展望等」に係る説明会の開催について
- 6 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成26年度6大学合同シンポジウムの開催について
- 7 平成26年度センター試験時の託児支援制度について
- 8 平成26年度医学部附属病院の経営状況について
- 9 学務部若手職員SD研修の実施について

▼教育研究評議会

11月18日（火）

審議事項

- 1 第3期中期目標・中期計画（1次案）について
 - 2 弘前大学社会連携推進機構の設置について
 - 3 弘前大学教員組織規定の一部改正について
 - 4 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
-

-
- 5 国立大学法人弘前大学管理運営規則等（COC 関係）の一部改正等について
- 報告事項
- 1 教員の採用等について
 - 2 平成26年度内部監査（重点監査項目）の結果について
 - 3 国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る病無の実績に関する評価結果について
 - 4 弘前大学学生企画コンテスト募集について
 - 5 第14回総合文化祭について
 - 6 平成27年度科学研究費助成事業の申請状況について
 - 7 八戸サテライト主催「平成26年度八戸地域学講座」の開講について
 - 8 「青森県経済の現状と今後の展望等」に係る説明会の開催について
 - 9 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成26年度6大学合同シンポジウムの開催について
 - 10 附属図書館リニューアルオープン記念講演会について
 - 11 女性教員比率に関する現状について
 - 12 平成26年度センター試験時の託児支援制度について
 - 13 資料館第6回企画展について
 - 14 COC 事業について
 - 15 委員会等報告
 - (1) 教育委員会（10月29日開催分）
 - (2) 21世紀教育センター運営委員会（10月16日開催分）
 - 16 その他
 - (1) 次回以降の開催予定日

▼教育委員会

11月26日（水）

審議事項

- 1 授業科目の履修成績に対する意義申立てに関わるガイドライン（案）について
- 2 平成27年度ホームページシラバスの入力について
- 3 その他

報告事項

- 1 平成27年度新入生の授業開始までの日程について
 - 2 平成26年度後期授業料免除について
 - 3 平成27年度大学院予約採用推薦数について
 - 4 平成26年度後期弘前大学大学院振興基金について
 - 5 第7回学生生活実態調査回答状況について
 - 6 平成26年度入学料徴収猶予者（秋季入学）について
 - 7 自転車の盗難防止について
 - 8 平成26年度入学料徴収猶予者（秋季入学）について
 - 9 研究活動の不正行為への対応ガイドラインについて
 - 10 東京事務所の機能強化について
 - 11 地域共同研究センター運営委員会の報告について
 - 12 その他
-

新任教授紹介

【平成26年11月1日発令】



医学研究科
ミズミ ヒロキ
水上 浩哉
昇任
前職: 医学研究科講師



理工学研究科
クロカワ アツシ
黒川 敦
昇任
前職: 理工学研究科准教授

人事異動

【採用】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月1日		横山 仁	准教授(農生)
平成26年11月1日		高梨子 文恵	准教授(農生)
平成26年11月1日		澤田 匡宏	助教(病) [H27.9.25まで]

【任用更新】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月24日	教諭(教育・附中)	小野 春美	教諭(教育・附中) [H27.1.8まで]

【昇任】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月1日	講師(医)	水上 浩哉	教授(医) [H36.10.31まで]
平成26年11月1日	講師(医)	浅野 研一郎	准教授(医) [H33.10.31まで]
平成26年11月1日	准教授(理工)	黒川 敦	教授(理工)

【命】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月21日	教授(人文)	森 樹 男	社会連携推進機構副機構長

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月1日	係長(施設・整計)	田村 貴之	休職更新 [H26.11.30まで]
平成26年11月1日	看護師(病・看護)	大沢 美紗姫	休職更新 [H26.11.30まで]
平成26年11月11日	主任臨床検査技師(病・医技)	櫛引 美穂子	休職開始 [H26.12.31まで]
平成26年11月14日	一般職員(病・経調)	笹原 明史	休職更新 [H27.5.13まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月1日	看護師(病・看護)	菅原 みよこ	職務復帰
平成26年11月13日	看護師(病・看護)	工藤 かおり	育児休業開始 [H28.3.31まで]
平成26年11月18日	教諭(教育・特別支援)	安田 真由美	育児休業開始 [H28.3.31まで]
平成26年11月19日	助手(病)	千葉 仁美	育児休業開始 [H27.3.31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年11月30日	看護師(病・看護)	天童 智也	辞職

■ 主要日誌

- 11月 5日 役員会
- 6日 在札幌米国総領事館主席領事が本学を訪問
- 7日 第2回市民ボランティア講座
- 10日 知財塾
- 11日 第6回弘前大学COI特別講演会
COI研究推進機構 工藤重光URAが「イノベーションコーディネータ大賞」を受賞
- 13日 平成26年度東北地区国立大学法人等研究協力担当事務職員研修（～14日）
- 15日 農場祭
- 16日 弘前市直営除雪隊結団式
- 17日 役員会
- 18日 教育研究評議会
- 21日 第9回弘前大学鷹揚さくら会
- 26日 教育委員会
平成26年度弘前大学と弘前市の連携推進会議
- 29日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム6大学合同シンポジウム

学内規則

(平成26年11月21日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員任免規程
- 国立大学法人弘前大学特命教員に関する規程

研究開発力強化法及び大学教員任期法の改正に伴い、上記の規則等の一部を改正した。

(平成26年11月21日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
- 国立大学法人弘前大学事務組織規程
- 国立大学法人弘前大学文書処理規程
- 国立大学法人弘前大学長の行う承認又は命令権等の委任に関する規程
- 国立大学法人弘前大学職員人事評価実施要項
- 弘前大学情報セキュリティ管理者に関する要項

地域を志向した全学的な教育・研究・社会貢献を推進するため、COC推進本部、関連組織及び教育改革推進室を設置することに伴い、上記の規則等の一部を改正した。

(平成26年11月21日制定)

- 弘前大学COC推進本部規程
- 青森地域COC推進協議会要項
- 外部評価委員会要項
- COC推進室要項

COC推進本部の設置に伴い、関連組織等に関し必要な事項を定めるため、上記の規程等を制定した。

(平成26年11月21日廃止)

- 弘前大学COC準備事務室要項

(平成26年11月21日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則

全学的に社会と連携した教育研究活動を推進するとともに、教育研究活動の成果を地域と結びつけ、地域の持続的な発展を促進するため、社会連携推進機構を設置することに伴い、上記の規則の一部を改正した。

(平成26年11月21日制定)

- 弘前大学社会連携推進機構規程
- 弘前大学社会連携戦略会議要項

社会連携推進機構の設置に伴い、関連組織等に関し必要な事項を定めるため、上記の規程等を制定した。

(平成26年11月21日一部改正)

○弘前大学教員組織規程

医学研究科について、以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①呼吸器内科学の教育研究体制整備を目的として、「呼吸器内科学講座」を新設するため。
- ②循環呼吸腎臓内科学講座の業務を見直し、「循環器腎臓内科学講座」に名称変更するため。
- ③リハビリテーション医学の教育研究体制整備を目的として、「リハビリテーション医学講座」を新設するため。
- ④基本領域専門医の一つとして新たに「総合診療専門医」が加わることに伴い、総合医学教育学講座の業務内容を見直し、「総合診療医学講座」に名称変更するため。

(平成26年11月21日一部改正)

○弘前大学大学院保健学研究科規程

保健学研究科博士前期課程における放射線看護高度看護実践コースの新設及び看護学領域のカリキュラム改正並びに博士後期課程における被ばく医療コースの新設に伴い、上記の規程の一部を改正した。

(平成26年11月26日一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

○国立大学法人弘前大学職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する細則

○国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則

○国立大学法人弘前大学初任給調整手当支給細則

○国立大学法人弘前大学職員の勤勉手当成績率決定基準

○国立大学法人弘前大学職員の昇給の実施基準

○国立大学法人弘前大学職員の「勤務成績が特に良好である職員」の昇給実施基準

国家公務員等において平成26年人事院勧告及び平成26年青森県人事委員会勧告に基づき法令等の改正を行った場合に国家公務員等に準拠するため、上記の規程等の一部を改正した。

(平成26年11月26日制定)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程平成26年改正附則第2項の規定に基づく号俸の調整について
国家公務員等において平成26年人事院勧告及び平成26年青森県人事委員会勧告に基づき法令等の改正を行った場合に国家公務員等に準拠するため、上記の規程等の一部を改正した。

弘前大学学報第128号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111